

令和7年9月扶桑町議会定例会 一般質問通告書一覧

9月5日(金) 午前9時30分～

受付番号	通告者氏名	質 問 事 項
1	佐藤 智恵子	1. 児童の熱中症対策について 2. 外国人住民の支援体制と共生社会の実現について 3. 聴覚障害者支援について
2	間宮 幹男	1. 本町の人口減少問題について
3	片野 泰雅	1. (仮称)新愛岐大橋開通に向けて 2. 扶桑町PR大使の創設について 3. 成果連動型民間委託契約(PFS)の課題と展望について
4	近藤 裕	1. 当町公共施設の個別施設計画について 2. 当町が目標とするカーボンニュートラルの実現は
5	山田 惇起	1. 行政が捉える請願について 2. 猛暑に対応した空調設備について 3. 本町の住宅事情について

9月8日(月) 午前9時30分～

6	和田 佳活	1. 行政施策の情報発信について 2. 重層的支援体制事業の開始に向けた整備について
7	澤田 憲宏	1. 子ども会 2. 学習等供用施設
8	荒木 孝三	1. 国民健康保険税について 2. 後期高齢者の支援対策について 3. 公共交通について
9	兼松 伸行	1. 本町窓口業務対応対策について
10	大河原 光雄	1. 「げんきな免疫プロジェクト」について 2. 稼ぐ自治体への取り組みについて

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 佐 藤 智恵子

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 児童の熱中症対策について	(1) 学校への冷凍庫設置について。 (2) ウォーターサーバーの設置について。 (3) 熱中症対策全体の強化について。
2. 外国人住民の支援体制と共生社会の実現について	(1) 外国人住民の現状把握について ア. 住民登録している人数、国籍、就労分野の傾向。 (2) 窓口での対応と支援ツールの活用は。 (3) 地域との共生・交流について ア. 自治会・地域行事への参加の働きかけ。 イ. 多文化交流イベントの実施状況。 (4) 教育と子育てにおける支援 ア. 学校からの連絡や行事案内、学習支援など言葉の壁による情報提供やサポートはどのように支援されているのか。 (5) 外国人も安心して暮らせる、今後の支援体制整備は。
3. 聴覚障害者支援について	(1) 本町の聴覚障害者への対応について ア. 窓口での対応は。 イ. サービスの現状は。 (2) 手話施策推進法に基づく町の責務についてどの

質 問 事 項	質 問 要 旨
	ように認識しているか。 (3) 今後、具体的にどのような施策を実施または検討しているか。 (4) 手話言語条例制定の考えは。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 間 宮 幹 男

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 本町の人口減少問題について	(1) 人口減少の変遷について ア. 後期基本計画の人口減少理由は。 イ. 後期基本計画の政策見直しは。 ウ. 人口減少の歯止めは。 (2) 人口減少を食い止める政策について ア. 結婚・出産支援は。 イ. 子育て支援の充実は。 ウ. 雇用環境の改善は。 エ. 移住促進受入態勢の整備は。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 片 野 泰 雅

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. (仮称) 新愛岐大橋開通 に向けて	(1) 子どもたちと住民の安全を最優先する交通安全対策について ア. (仮称) 新愛岐大橋の開通時期は。 イ. (仮称) 新愛岐大橋の予想交通量は。 ウ. 交通量増加にともなう安全対策は。 エ. スムーズ横断歩道の導入は。 オ. 「スマート横断歩道」の有効性に対する見解は。 カ. 「スマート横断歩道」の導入検討は。 (2) 増加する交流人口を町内消費に繋げるための戦略的ビジョンについて。 (3) 人で賑わうまちづくりについて ア. 公園機能の強化計画は。 イ. 大型モールを核とした「にぎわい創出」は。 ウ. 人の流れの変化を捉えた人口増加策は。
2. 扶桑町 P R 大使の創設について	(1) 有名な芸能人に頼らない、予算をかけない P R 大使任命について ア. P R 大使制度導入の意義は。 イ. P R 大使の要件と選定方法は。 ウ. P R 大使へのインセンティブと活動内容は。

質 問 事 項	質 問 要 旨
3. 成果連動型民間委託契約（P F S）の課題と展望について	エ. 他市町の成功事例と実現可能性は。 オ. P R 大使制度の積極的な導入は。 （1）成果連動型民間委託契約方式の現状認識について ア. 成果連動型民間委託契約方式とは。 イ. メリット・デメリットは。 ウ. 扶桑町における課題と展望は。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 近 藤 裕

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 当町公共施設の個別施設 計画について	(1) 公共施設の再配置の基本方針は。 (2) 廃止・建て替えをしない施設は。 (3) 統廃合する施設は。 (4) 廃止・建て替えをしない施設の跡地利用あるいは 売却は。 (5) 役場庁舎の具体的な建て替えは。
2. 当町が目標とするカーボ ンニュートラルの実現は	(1) 温室効果ガス排出量の年度削減推移は。 (2) 目標とした排出量に対する考えは。 (3) カーボンニュートラルと脱炭素の違いは。 (4) 当町でのカーボンニュートラルの実現に向けた 取り組みは。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 山 田 惇 起

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 行政が捉える請願について	(1) 安易な請願とはどのようなものか。 (2) 請願本数が増えることを町としてどう捉えるか。
2. 猛暑に対応した空調設備について	(1) 公共施設に高気温対応機種 of 普及が進むような取り組みは。 (2) 高気温対応機種と扶桑町生活困窮世帯エアコン購入費補助金との関係はどのようなか。
3. 本町の住宅事情について	(1) 住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律等を改正する法律への対応は。 (2) 生活困窮者自立支援法改正に伴う住居面での対応は。 (3) 高齢者シェアハウス整備についてどう捉えるか。 (4) 残置物処理の推進体制は。 (5) 本町の空き家の活用方向は。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 和 田 佳 活

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 行政施策の情報発信について	(1) 行政施策（予算や決算など財政・公共施設の現状とこれから等）の情報発信の重要性は。 (2) 将来における行政施策課題の情報発信のあり方は。 (3) 行政施策を出前講座のメニューに追加の考えは。
2. 重層的支援体制事業の開始に向けた整備について	(1) 包括的な支援体制が求められる必要性とその背景は。 (2) 重層的支援体制整備事業の位置づけは。 (3) 本町の包括的な支援体制の整備・重層的支援体制整備事業の現状とあり方は。 (4) 重層的支援体制整備事業における各事業の概要は。 (5) 重層的支援体制整備事業に取り組む際の課題は。 (6) 一体的な（役場内）推進体制の確立は。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 澤 田 憲 宏

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 子ども会	(1) 子ども会について ア. 子ども会の現状は。 イ. 子ども会の意義についてその目的やメリットは。 ウ. 本町の子ども会連絡協議会活動の状況は。 エ. 単位子ども会活動の状況は。 オ. 今後の課題は。
2. 学習等供用施設	(1) 学習等供用施設の維持管理について ア. 施設の経年状況と耐用年数は。 イ. 施設の建物更新は。 ウ. 空調設備、照明設備等の更新は。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 荒 木 孝 三

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 国民健康保険税について	(1) 社会保険と国民健康保険の違いは。 (2) 2025年度の国民健康保険料はいくらか。 (3) 無職の方と月収15万との違いは。 (4) 均等割の廃止について問う。
2. 後期高齢者の支援対策について	(1) 難聴高齢者補聴器購入費助成事業について問う。 (2) 啓発の考えは。
3. 公共交通について	(1) チョイソコの現状は ア. メリットとデメリットを問う。 (2) 今後の料金はどのように考えているか。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 兼 松 伸 行

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 本町窓口業務対応対策について	(1) 外国人窓口業務対応対策について ア. 本町外国人登録者の人数は。 イ. 各課窓口業務対応の現況は。 ウ. 各施設窓口業務対応の現況は。 エ. 本町、障害児通所支援事業所の窓口業務対応の現況は。 (2) 翻訳機の追加導入の考えは。

令和 7 年 9 月 扶 桑 町 議 会 定 例 会 一 般 質 問 通 告 書

扶桑町議会議員 大河原 光 雄

質 問 事 項	質 問 要 旨
1. 「げんきな免疫プロジェクト」について	(1) 「げんきな免疫プロジェクト」の現状について ア. 「げんきな免疫プロジェクト」の趣旨とは。 イ. 当初から参画した意義は何か。 ウ. 「免疫ケア」の啓発に向けた本町独自のアクションは。 エ. 本町の「免疫ケア」の意識向上に向けた学ぶ授業の取り組み方は。 オ. 今後の推進の仕方と求める成果や目標はどのようなか。 (2) 総合体育館のネーミングライツについて ア. なぜ「～免疫ケアで健康習慣を～」なのか。 イ. 体育館へのネーミングライツの理由は何か。 ウ. 町のスポーツ行事や推進委員の活動・発表に期待することは。
2. 稼ぐ自治体への取り組みについて	(1) 今後の税外収入の考えと取り組みについて。